

# 購入・販売電力料について

2023年4月4日  
北海道電力株式会社

# 1. 購入・販売電力料の概要

- 第38回料金制度専門会合でのご議論を踏まえ、燃料費等の採録期間を変更し、購入・販売電力料の再算定を行っていますので、再算定後の概要となっています。
- 購入電力料は、購入電力量の増加および卸電力市場価格高騰による購入単価の上昇などにより、前回原価に比べ、967億円増加しています。市場購入については、メリットオーダーにもとづく卸電力取引所からの調達を反映しています。
- 販売電力料は、常時バックアップなどの相対販売における販売電力量の増加および販売単価の上昇などにより、前回原価に比べ、1,000億円収入が増加しています。

## 購入・販売電力料の内訳（3か年平均）

(億円)

		再算定原価 (A)	前回原価 (B)	差 (A-B)	主な増減理由・内訳
購入電力料 計		1,879	912	967	
地帯間購入		-	2	▲2	
市場購入		710	93	617	卸電力取引所からの購入電力量増および単価の上昇
相対 購入	新エネ	358	148	211	FIT電源拡大に伴う購入電力量増および単価の上昇
	その他	599	669	▲70	高単価な自家発火力の購入電力量減
新市場対応		212	-	212	容量拠出金、非化石証書購入費用

販売電力料 計		1,034	34	1,000	
市場販売		148	4	144	卸電力取引所への販売電力量増および単価の上昇
相対販売		501	30	472	常時バックアップの販売電力量増および単価の上昇
新市場対応等		332	-	332	容量確保契約金額、需給調整市場からの収入、調整力公募
その他		52	-	52	自社水力FIT

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

## 2. 新市場等関連の費用・収益について

- 今回原価においては、新たな市場等に係る費用・収益（容量市場、需給調整市場、非化石価値取引市場）を以下のとおり織り込んでいます。

(億円)

		2023	2024	2025	3か年 平均	織り込みの考え方
購入 電力料	容量拠出金	－	374	207	194	北海道エリアの小売電気事業者負担総額に、エリア内の当社需要比率を乗じて算定。
	非化石証書 購入費用	15	20	22	19	各年度の目標達成に必要な非化石証書購入量に、購入価格を乗じて算定。

(億円)

		2023	2024	2025	3か年 平均	織り込みの考え方
販売 電力料	容量確保契約 金額	－	442	273	238	2024、2025年度向けの容量市場メインオークションの約定結果に基づき算定。
	需給調整市場	－	58	79	46	需給調整市場への調整力として期待される純揚水発電所の収益を計上。
	調整力公募等	138	0	3	47	調整力公募、ブラックスタート機能公募、電圧調整機能公募に係る収入を落札結果等に基づき算定。